

朝晩の冷え込みが増し、本格的な冬を感じるようになりました。

季節の変わり目は、人も動物も体調を崩しやすい時期。普段から健康に気を配りたいものです。犬は下痢をしてしまうことが多いので、今回は注意すべきポイントをご紹介します。

犬の下痢の原因はさまざまですが、食べ過ぎや食物アレルギー、異物を飲み込んだことによる「食事性」、外出やペットホテルでの宿泊、トリミング後の疲れなどによる「ストレス性」の2つがよくみられます。

クリスマスやお正月など、自宅に人を招く機会も増えるかと思いますが、その場合は



犬が下痢をしたら…

犬が疲れすぎてストレスがたまらないように気を配ってください。また、チキンの骨や塩分の濃いメニュー、デザートケーキなど人間用の食べ物は与えないように注意が必要です。犬は、いつもの食事と内容や量が異なるだけでも症状が出ることもあるためです。

犬が下痢をしたあと、様子を見るか受診するかを悩む人も多いかと思います。症状が1日で治まり、元気や食欲があれば様子を見ることもできますが、2日以上続く場合は、病院で受診しましょう。
すい 膵炎や炎症性腸疾患、消化器

系の腫瘍など、別の病気の可能性もあるからです。

受診時は、発症後の様子できるだけ詳しく伝えるよう心がけましょう。特に、発症後の日数▷排便回数▷食欲の有無▷ストレスになりそうなどできごとがあったか—などを伝えてください。検査用に便を保存しておいたり、写真を撮ったりしておくと、獣医師も症状を把握しやすくなります。また、普段の便の色や状態なども把握しておくと、より正確な診断につながります。

(アニコム損保
獣医師 石田洋美)